

※発言をそのまま書き起こしたデータを基に、個人情報に関する部分を削除し、文意が通るように修正を行っています。

【グループワーク 2：質問への答えをつくる】 B 班

(F) 先に仲間分けをしてから答えを書いたほうがいいですね。

「無責任が原因なんですか？」。

—— 意味が分からないですね。

—— 「倫理」がたくさんありますね。

—— 「倫理観ってどういうものですか？」、いい質問ですね。

(F) 「意思決定の仕組みはどんな仕組みがいいですか？」。

—— 「倫理だけで事故は防げない！」。

—— 防げないと思います、と言っているのかな。

—— 後半に「原子力学会にも倫理規定あり」と書いてあるので、たぶん、そういうことかと。

(F) 「企業人の倫理観のなさが深層にあったんですね、納得」。これは質問じゃないですね。

—— それは下のほうにしておきましょうか。

—— これも意見ですね。

(F) こちらは「倫理」ですね。

「意思決定の仕組みはどんな仕組みがいいですか」。これは？

—— 私が言ったところに関する質問ですね。

—— これは倫理とは違いますね。

—— 「定義なくともある目的の下の集団はあるのでは？」。ああ、これはムラの定義の話ですか。

(F) これはどこに入るんだろう。

—— これはまた、全然別ジャンルですね。

(F) 別ジャンルですね。じゃあ、ここに貼っておきましょう。

—— でも、(私たちは) 別に集団があってもなくてもどうでもいいと言っているから、それは、うちのグループではどうでもいいことなのですよ。

そうすると、皆同じ(倫理)なのだけど…。なんか、①、①’ っていう感じですね。

(サブ F) 同じ「倫理」でも、分かれていますよね。

—— そうですね。教育とか。

—— 「倫理教育ってどんなものが良いですか？」。教育。それから、倫理自体に対しての質問。

—— 「倫理など経済発展の前には無力ではないのか？」。無力だとすれば、いらぬのか、ということになるんですよ。だから、無力化しないためにどうしたらいいのかということですよ。

「倫理だけで事故を防げない」。事故を防ぐことと倫理は違うけど、働いている人が「この業界いやだな」とか、「どうでもいいや」と思って働くのと、一生懸命働くのとでは、違いますよね。

(F) いろいろな倫理観がありますからね。企業倫理のことを言っているのか。

—— 発表のときは、企業倫理のことを言っていましたよね。

—— そうです。企業に属している人が大半だから、企業の組織人として、原子力に従事している人はどういう倫理観を持つべきかということです。

(F) そうですね。企業倫理もあるし、個人倫理もあるということですよ。

—— そうですね。あります。

(サブ F) 優先順位を 3 つくらいつけていただけますか。これがまずひとつですよ。

—— そうですね。どうやって教育したらいいか。

—— 教育の話ですね。

(F) そうですね、これはひとつですね。

—— これは個人倫理の話ですよ。企業倫理ではなくて、個人の倫理。

—— まず個人倫理があって、企業倫理になるでしょうから。だから、まず個人倫理をどうするか、ということでしょう。

(F) 個人の倫理があって、企業の倫理がある。

—— と思いますよ。

—— この経済云々の質問は、企業倫理の話ですよ？

—— この質問は、個人と企業との間のコンフリクトのことを言っているんじゃないですか。

—— 説明のしやすさからいくと、「倫理観ってどういうものですか」ということで、まず個人の倫理があって、企業の倫理があって、この 2 つを考えましたと。個人に対してどんな教育をするか。で、企業に対しては何をやるか。

(サブ F) そういう優先順位がいいんですしたら、貼り換えていただけますか。どれが①なのか。

—— でも、それが①じゃないかもしれない。

(サブ F) でも、話として分かりやすいほうがいいですよ？

—— まあ、それはそうですけど。

(F) どうですか？

—— 倫理観の話ばかりでいいんですか？ この辺もありますよね。

—— ああ、意思決定の質問ですか。

—— ええと、これは回答すべき順位なんですか？ 回答したい順位なんですか？

(サブ F) 回答の書きやすいものから選んでもいいですし。

—— 回答したいものでもいいんですよね？

(サブ F) そうです。議論したいものにするのがいいんじゃないですか。

—— 「日本原子力学会にも人として正しい倫理観がまかりとおっているんでしょうか？」。

—— 「まかりとおっているんでしょうか？」って、なんか、ないみたいな言い方ですね。

—— 学会に入るときに、あなたは倫理規定を守りますか、というのはないですからね。

—— 学会の人も、人ですから、それはなんか…。

—— いろいろな人がいますからね。

—— 「無責任」の話は面白いかなと思ったんですけど。それは本当に最後にちらっと出た話なので。

—— 「無責任」というのはどこから？ (1枚目を見る) ああ、意思決定の話ですね。

—— それと、「意思決定の仕組みはどんな仕組みがいいですか？」というのがありますね。

—— ああ、だからこれと一緒にですね。

—— 一緒ですけど、それもひとつのテーマですよ。

—— この付箋は、別に（回答しなくても）いいですよ。定義云々の話もいいですよ。

—— これもいらない。

—— 議論しても答えが出ない話ですからね。

—— これで3つに分かれた感じですね。個人の倫理と、企業の倫理と、意識と。

(F) 「個人の問題だけ？」っていうのはこちらですか？

—— 企業倫理になるのかな。

—— ああ、個人倫理ですね。

—— これはたぶん、個人倫理だけしかないのですか？ ということを行っているんですよ。

—— それはさよならで。

—— ああ、さよならですか。

—— どれを①にしますか？

(サブ F) 優先順位をつけてください。

(F) これを①でいきましょう。で、②、③でいきましょう。

(サブ F) これは全部①ですか？

—— うーん。「倫理観ってどういうものですか？」が一番メインなんでしたっけ？

—— ああ、そうですね。

(サブ F) ①はこれですか？

(F) そうですね。「倫理観ってどういうものですか？」。

(サブ F) でも、そこから入っていくと、非常に答えが書きにくくないですか？

—— 書きにくいですね。皆が持っているイメージが違うから。

(サブ F) こちらのほうが書きやすくないですか？ この辺から始まって、結局最終的にそれになったほうが。

—— おっしゃる通り。

やはり、原因じゃなくて、夢を語るべきだと思うんですよね。

—— ああ、なるほど。

—— そうすると、個人はどういう倫理観を持たないといけないのでしょうか、という私たちの問題があつて。それが会社に入ったときに、個人の倫理観と摩擦を起こしたときにどうするのでしょうか、ということじゃないですか？

—— では、まずこの辺からいきますか？

—— この辺からいったほうが、入りやすいと思います。

(F) それを①にしますか？

—— 個人の倫理観とは何か。皆で書きましょう。

—— 個人の倫理観とは何か、ですか？ うーん。

—— 安全第一ですよ。

(F) この場合は、原発に限って、ということになるんじゃないですか？

—— いや、倫理観というのは、もっと広いと思います。

—— うーん。

(F) でも、カテゴリーを広くしちゃうと書けないですよ。

—— 確かに。なかなか難しいですよ。

—— では、狭くしましょう。原子力における個人の倫理とは何なのか。

(F) 原子力に対する個人の倫理ですね。

—— 何だろう。事故を起こさないこと？

—— まあ、安全第一って言っていましたよね。

—— 安全第一ですね。

(F) 安全第一なんて、普通の倫理観でもありますよね。交通事故を起こさないこと、みたいな。

—— 福島は安全第一じゃなかったのかといわれると、そういうわけでもないですよ。

—— そうですね。

—— 倫理っていうのは、世の中に善がすでに存在していて、その善に従ってやるか。それとも善を皆で作り返すか。ということなんですよ。哲学論に入っちゃう。

(サブ F) そろそろ 10 分なんですけれども、整理したほうがよくないですか？ 皆さんがバラバラに書いてもよくないですから。まず、どれを①、②、③にして、どこから答えるのか。

(F) だから、これを①、②、③にします。

—— 私はこれを作ろう。

—— 分業制でしたっけ？

(サブ F) いやいや、違いますよ。

—— 「倫理」だけだと厳しいから、「仕組み」で保障しましょうと。要は倫理って、今話をしているように、抽象的なものなので、たぶん抑止力にはなり得ないですよ。私の考えでは。

—— なるほど。それは書いたほうがいいですよ。倫理だけでは抑止力にはならないので（書き始める）、

（サブ F） すみません、ピンクで書いていただかないと駄目なのですよ。今のは市民の方の意見ですから。

—— あ、原稿を書いているのです。抑止力にならないので、システム？

—— そうですね。システムと言ったほうがいいんでしょうかね。

—— 何を書けばいいんですたっけ？ ①はこれでしたっけ？

（サブ F） ①はこれなのですけども。

—— 倫理は個人に負うところが多いから、何かバックアップする仕組みはどうでしょうか、というお話でしたけど。

（F） 「倫理観ってどういうものですか？」に変えたほうがいいですか？

—— ん？

—— 何を書けばいいか分からないですよ。何を書けばいいんですたっけ？

—— こちらは教育でまとめたんですね。

—— 倫理教育に対して書けばいいということですか？

—— まあ、これ（倫理教育）は6回目をやったほうがいいと思いますけどね。

—— 意思決定システムって何？ という質問がありましたよね。そこって、向こう（C班）の意見とかぶるんですけど、私は多様性だと思うのですよ。業界の人だけで決めるからおかしくなっちゃうから、いろいろな人の意見を織り込むべきだと。

(サブ F) ですから、ここ（意思決定の仕組み）から話をしたほうが、話が進むと思うんです。（サブファシリテーターがこういうことを）言っちゃいけないんですけど。

—— なるほど。じゃあ、プロの言うことを聞きましょう。

(F) では、それを①としたほうがいいですね。

—— これについて書けばいいんですね。

—— ②が倫理教育ですか？

(F) そうですね。で、③が倫理観とは何か。

(サブ F) 結果的に、倫理観は何か。

—— 難しいですね。③までいかないほうがいい。

—— ここが③でいいんですか？

(F) 一応③だけど、②が主ですよ。

—— そうですね。倫理教育はどうしたらいいか。難しいんだよね。

(サブ F) これに対して回答を書いていただいて、何分かしたら、皆で一巡して、次に移ったほうがいいと思いますけれども。

(F) ああ、そうですね。

(記入中)

(F) はい。では、どうぞ。

—— では、私から。意思決定の仕組みということで、まずは国の意思決定については、ある程度公平に見られるような第三者機関がやるとか。

あとは、一般の人が議論の場に出るような仕組みを作る。

会社の中の意思決定なのですが、外部から社長を迎えるとか、何かそういうことをするというのはどうでしょうか。

—— 技術者の方がマネジメントを学ぶ。単純な技術バカが原子力をやってはいけないと思っているのですね。トータルマネジメントをやっているのだから、トータルマネジメントを学ばないといけない。その教育機関がなさすぎるし、教える人もいない。だから、専門的に有名な人が社長をやったとしても、原子力安全委員長をやったとしても、規制委員長をやったとしても、役に立たない。マネジメントを知らないから。と思います。

—— 確かに、今、技術に限っていますからね。

—— それからもうひとつは、やはり失敗を恐れない勇気を持つこと。

—— 無責任でもとりあえずちゃんとやるということですか？

—— 無責任でもいいから決めてよと。

—— 私は、そうですね、この辺りは確かに賛同するんですけど。

自分で書いたのは、まず、多様性という C 班の意見をいただいたんですけど、やはりそれは大事だなと思っています。

で、地元以外の一般住民も意思決定の場に参加させてもいいのかなと。

—— なるほど。それはそうですね。

—— ただ、便利だからいいよ、っていう人もいるかも知れないですけど。

—— まあ、それはそれで。

—— 私も、まあ、同じですね。多様性を持ったトップ集団。

あとは、やはり現場からの意見も大事なので、ボトムアップですね。下から情報を上げてくれるシステムもちゃんと整備するということ。

それから、責任の所在の明確化です。これをちゃんとしないと、結局、誰が悪いんだという話で、うやむやになってしまうので。

—— 私は、ちょっと変なことを書いたんですけども。原子力の知識はあるけれども、原子力関係の仕事についていない、そういう中間人材みたいな人。専門家と一般市民の中

間の人みたいなのがあったほうが、いろいろ便利じゃないかなと思いました。

なおかつ、その中からランダムに人を選んで、議論をしたり。まあ、あくまで参考の意見を出してもらおうとか。そういうふうにして、市民と専門家の橋渡しみたいなことができればいいんじゃないかなと思ったんですけれども。難しいかなとも思います。

(F) 私は、ちょっと外れているかもしれませんが、広い視野を持った教育システムを作る。

(サブ F) 意思決定のためにですか？

(F) そうですね。

—— 確かに、今、教養課程がなくなったから。

(サブ F) 出た意見で議論をしますか？ それとも、②に行きますか？

(F) ②に行きましょう。

—— ②に行きましょう。②は倫理教育とか、教育とか。

(サブ F) 「倫理教育ってどんなものが良いのですか？」。

「倫理観を醸成するには繰り返しの教育が必要」。これはクエスチョンじゃないですね。

—— これはひとり言ですね。

—— あ、本当だ。

(サブ F) でも、教育のことを言っているわけですね。

(F) いいことを言っている。

—— 倫理教育から外れてしまってもいいかもしれない。

—— いいんじゃないですか。

—— 「教育」という形で、広くしたほうが答えやすいかも。

—— そうしたら、「倫理など経済発展の前には無力ではないのか？」も外してしまったほうがいいですね。関係ないですよ。

—— そうですね。この付箋は、尊重しながらも、下に行くと。そうしないとフォーカスがぼやけちゃうから。

倫理教育っていうのは、これからの日本の問題なのですよ。

(記入中)

—— じゃあ、私から。失敗例、成功例を含めたケーススタディを勉強させることが大事。こういうときにこういうことをしたんだけど、これは失敗した、成功した。それはなぜだろうって。日本の教育には、ケーススタディ教育がない。座学で覚えさせるだけ。

もうひとつ大事なことは、何もしないということも決断のひとつだということ。何もしないことも責任を取ることになるんだよということ。と、教育の中で教えるのが倫理だというふうに私は思います。

—— 技術者の倫理ということで、何もしないのもひとつとおっしゃっていましたがけれども、やはり判断力をつけること。自分の意見を持つなり、自分なりにそれがいいとか悪いとかを判断する力をつけることかなと。

あとは、失敗してもやり直せる仕組みを作る。なんだろう、ちょっとうまく言えないんですけど、なんとなく理解してください。

あとは、単純なんですけど、他企業から部外者の講師を招くなり、異業種交流をするなりして、見聞を広める。ちょっとずれてはいますけど。倫理じゃない気もしますけど。

—— この〔失敗してもやり直せる仕組み〕というのは、ワンストライクアウトみたいな感じですよ？

—— ああ、そうですね。

(サブ F) そちらで〔失敗を恐れない勇気を持つ〕というのが出ましたよね。

—— だから、一緒なのですよ。

—— では、私。福島や JCO、海外で発生した重大事故、または軽微な事故の事例共有、再発防止教育。ここでこうしていれば防げたのに、というポイントはどの事故でも絶対あ

るはずで、それを知っているか知らないかで、ずいぶん現場の感覚は違うのかな。そういう意味では「倫理」ではないです。ただ、「ここでこれを言わなきゃいけない」というところもひょっとしたらあるかもしれないわけで、そういう中で倫理教育というのが入ってきたら、それはそうなのかなと。

—— 私はまったく同じですね。過去の事例の紹介。

—— あ、逆に専門家の方って、あまり過去の事例を知らないんですか？

—— 過去の事例は、なぜ起きたのかは分かります。でも、日本の場合、裁判にならないので。裁判から抹消するっていう手続きを取るのです。

—— あと、教育をそういうふうにするかどうかは分かりません。会社によります。

体験型の教育を推進する。まあ、同じですね、ケーススタディですね。

あとは、これは教育と外れますけど、倫理から外れたときは、厳しい罰則を与えるようにしていくと。

—— ええと、私は今教育を受けている立場なので、教育がどうこうという話じゃないんですけど。一応大学では「技術倫理」という授業はありました。その内容は、JCO の臨界事故、NASA のスペースシャトルが帰還して爆発した事例、あとはニューヨークのビルの耐震偽装、それを見つけてしまった技術者がどうしたかという、そういう 3 つを取り上げていました。基本的にビル以外は全部失敗しているんですけど。

ビルだけは、技術者が倫理観をちゃんと持っていたから、ちゃんと言って、裁判沙汰にもなって、その技術者は偽装してしまったので逮捕されたんですけど、一応良心に従ったということ。そういう事例があったということは、それはたぶんケーススタディだと思うんですけど、一応やりました。

ただ、やったからどうこうという話ではないかなと。

—— でも、やはり過去の、

—— そうですね。過去の事例から学ぶということは、たぶんありなのかなということで、やっているんじゃないかなと思いました。

(F) 私は 1 枚だけです。責任を持たせる教育。

(総合 F) あと 15 分です。

—— これをまとめるわけですか？

—— 最後は発表者の腕力ですね。

—— 次は（発表者は）誰ですか？

（サブ F） どうしますか？ ③にいきますか？

—— ③はちょっと漠としているから、①と②をもうちょっと深彫りしたほうがいいかなと。

（サブ F） では、具体的に、この場合はどうしたらいいかという意見出しをしたらどうですか？

—— 発表者が何を話すか。

（サブ F） 皆さんが見て、これについてもうちちょっと意見を出し合おうよというのを、1つ、2つ選んだらいいんじゃないですか。

—— 「技術倫理」の授業で、経営者の倫理と技術者の倫理は違うということを教えられたんですよ。

—— 面白いですね。

—— 経営者が経営を守るということは、社員の家族を守るということで、一概に経営者の倫理を排除することはしないほうがいいっていうお話だったんですけど。

—— いい勉強をしていますね。

—— そうですね。

（サブ F） 技術者にマネジメントを学んでもらうという意見がありましたけど、一緒ですよ。

—— これは近いですね。これは私が書きましたけど、こちらサイド（②）にあるべき意

見ですね。

この意思決定のところでは、何かいいヒントはないですか？ ここまでまとめたんだから、他よりも絶対いいものになると思うんですよ。

(サブ F) ひとつ質問してもいいですか？ [失敗してもやり直せる仕組み]というのは、①ではなくて、②ですか？ ①にしたらいいんじゃないかなと。

—— そうですね。確かに。

—— 意思決定をしましょうと。意思決定をして間違っただとしても、それを許す社会にしましょうと。でも、あまりにでかい失敗は駄目だよと (笑)。

(サブ F) 実際にこの仕組みは大事だと思いますね。

—— その仕組みというのは、皆で認めるということでしょうね。誰かが決めたら、私たちも一緒になって決めただよって。そういうのが仕組みだと思う。俺たちは関係ないっていうのは駄目。

—— そうですね。

—— それはその通りですね。

—— 何もしないっていうのも、やはり責任を担わなきゃいけない。

—— そう思うけど。

(F) 意思決定っていうのは、誰が決定するんですか？

—— それが今決まらないからかな。

(F) それが問題なのですよ。意思決定をする人と、責任を取る人が別々になっている。

—— うーん。

—— 責任を取る人がいないんですよ。

(F) いないんですよね。意思決定をする人はいるかもしれないけど、責任を取る人はいない。

—— そうですね。東電の社長は責任を取るといって、辞めたら終わるのかと。

—— まあ、そういう問題もありますね。

(F) 終わりかというと、終わりじゃないんですよ。

—— 会社としては終わりじゃないですよ。でも、個人としては、ごめんなさい、じゃあ会社を辞めます、だけで終わっちゃうのか。

—— ただ、辞めなかったら辞めなかったでうるさいですよ。

(F) 本来は企業が責任を取らないといけないんですけど。

—— 企業がどうやって責任を取るかというと、金をはたくしかないですよ。

(F) だから、お金をはたくという今の構造がちょっとおかしいと。

—— 企業の責任がどこまでか。例えば、避難とかは、もう自治体に関係していますよね。

—— そうですね。だから、一企業じゃまかないきれないですよ。

—— 国のエネルギー政策だったりする。元々それを作ったのは国の方針、というのもあるのかなと。

—— 結局、それを決めたのが業界の人だけで。まあ、私はそれがムラだと思っているんですけど。

—— でも、うーん、そのときにふと思うのは、中に入っている人がものすごく大富豪になっているのか。

—— いや、それはそうではないですね。

—— それほど儲かっていないというか。

—— そここまで分かりやすい悪い人はたぶんいないはずなのですよ。

—— そうなのですよ。たかだか 2000 万ぐらいの年収で、子会社に行って終わっちゃうだけなんですよ。

やはり、責任の所在の明確化じゃないですかね。その代わりに、成功したときの褒賞がないと駄目ですよ。

(F) まあ、そうですね。大きい褒賞がある。

—— それと同時に、その意思決定を、外部の人がモニタリングするということが必要でしょう。

—— 日本の仕組みだと、部外者を取りこんじゃうんですよ。

—— 「お前も仲間になれ」とか言って（笑）。

—— それで、審査機関を作っても、なあなあになって。

—— そうなのですよ。第三者機関は、作ったときはいいのですが、結局原子力ムラになってしまう可能性もあって。そうすると、またいちごっこになってしまう。

—— そうすると、日本の社会構造そのもの話になってしまうんですよ。

—— なんか、全員が当事者になるんだったら、それはそれで目的を達したような気がしますけど。皆が主体的に判断しているわけですから。

—— その通りですね。

—— 意思決定のプロセスをモニタリングするということと、責任体制の明確化じゃないですか。

—— なんか、国民から何人かランダムに引っ張って、裁判員制度みたいな感じで、

—— でも、国民の 8 割が馬鹿だと思えば、馬鹿になってしまう可能性もあるわけですよ。

(F) 実際、馬鹿なのですよね。

—— 衆愚政治になっちゃうんじゃないかなって。

—— なっているから大丈夫です (笑)。

—— では、まとめましょう。

—— やはり拡散しますね。

—— 何を一番言いたいですかね。

—— 何しろ (意思決定が) 遅いのを直してくださいと。それは皆が無責任になっているからじゃないですかと。では、無責任にしないためにはどうしたらいいかというと、

—— 責任の所在がしっかりすれば、意思決定も速くなるんじゃないですか。独裁政治みたいな感じで。

—— いろいろな声を取り入れること。あとは、責任を明確化してジャッジすること。やはりその2つのような気がするんですけど。

—— 多様性を持つと、意思決定は遅くなるんですよね。

—— 確かに背反はしていますね。

—— ただ、速さは、この問題については、いらないとはいわないけれども、そこまで重要な問題ではない。一般企業とは違って。むしろ、いろいろな声を取り入れて、社会の合意を得ることのほうが。

—— 今の再稼働ですね、それは。

(F) ボトムアップでもあるし、トップダウンでもあるんですよね。

—— 間違いなくこれをやったら、絶対時間はかかるわけですよね。

—— まあ、モニタリングしているところをオープンにしていくのは大事ですよ。今の審

議会制度は、向こうが勝手に指名して、なった先生も喜んで、偉くなったと思っているだけのなあなあ話だから。

—— 結局、専門家の集まりだし、現場をよく知っている人がいったところで、ちょっとしゃべっておしまいみたいな。

—— 専門家って楽なんですよ。おだてたらすぐに言うことをきくから。

—— では、どうやって発表しましょう。

—— それは、発表する人が誰かということですよ。

(サブ F) どうしますか？ ファシリテーターさんがどなたかを指名するのか。

—— そちらの方がやったらいいんじゃないですか。あなたが一番やったんだから。

(サブ F) この辺りが一番のポイントですよ。

—— ええ。この辺だと思えますね。

(F) 肝ですから。

(サブ F) 相反している部分もあるけど、やはりそれがすごく大事ということ。

—— この2つをどうやって両立させるか。

—— 両立というと？

—— 多様性と意思決定の速さを、どうやってやっていくのか。

—— それは、自分たちを社長にしないと分からないことなんですよ。この場では答えが出ない。だって、責任のプレッシャーがないから。

—— 社会的影響が大きいから、必ずしも速さにこだわる必要はない気がするんだけど。

—— ああ。

—— それも言えますよね。

(F) 元々、速さを求めるものではないと。

—— むしろ、じっくり決めるべき。決めないという話でもないんだけど、急ぐ必要はない。

—— 前回の話し合いで、それがあったんですよ。近場の未来については、とりあえず原子力は続けておくけれども、長期的にどうするかというのは、やはりゆっくり考えるというようなご意見がありました。

—— それはそうでしょう。

—— そういう長期的なビジョンについて話し合いをする場には、本当にごく少数の人しか絡んでいないので、

—— だから、今日の続きが明日なのか、ということですよ。10年後も同じ日の続きなのか。ということで、これはまとまったということで。

こちらの教育のほうは、まあ、あれですよ、

(F) 流しですね。

—— (発表のときに) 適宜補足をしていただくということで。

—— やはりケーススタディをやって、ちゃんと学ばないと。

—— でも、教育のほうは結構まとまっている気がしますね。

—— まとまっているし。実際にそちらの方が学んでいることはいいことだと思いますよ。

—— その部分についてはそちらの方が発表するっていうのはどうですか？

—— ああ、別に大丈夫ですよ。

(総合 F) 皆さん、あと 5 分で発表していただきますので、発表の準備をお願いします。

準備が終わった班は、ボードに貼ってください。

(F) この言葉がいいですね。経営者の倫理と技術者の倫理。

—— そうですね。これはいいですね。

—— では、途中まで私が話をするので、学んでいるところは発表してもらおうと。

(F) いい言葉ですよ。

—— ポイントを突いている。

—— スペースシャトルを墜落させてしまった人も、まだ現役でやっているみたいなのですよ。やはり、やり直せる意識っていうのはいいんじゃないかなと思いますね。

—— (発表は) また B 班からですかね？

—— いや、ないでしょう、もう。

—— 一番すっきり感はありますけど。

(F) 抽象的な議論だと、話が尽きないですね。1時間くらい話さないと。

(サブ F) 先ほどおっしゃったことを付箋に書いたのですが。「意思決定はゆっくり、慎重で良い」。

—— ええと、その言葉だとたぶんちょっと違ってしまうので。

—— 載せると、一人歩きしてしまいそうですね。

—— そうですね。

(サブ F) はい。

—— 緊急時は速くできるような仕組みがほしいですね。

—— それはそうですよ。向こうの訓練は、抜き打ちなんです。知っている人が 2 人くらいで。

日本なんて、何時から始めますって、全員が待っていて。

—— まあ、そっちのほうが現場は助かるんですけどね。

—— 「ああ、良かった、時間内に終わった」とか。事故が起きたら終わるわけないのに。

—— 最後に電源喪失が復旧したというのは最たるシナリオですよ。ハリウッド映画チックな。

—— 新基準って、どこのホームページを見ればいいんですか？

—— 原子力規制委員会というところからですね。

—— ああ、環境省のホームページから入ったんですけど。

—— 環境省かな？ 規制委員会っていう、5 人の顔写真が載っている、

—— ああ、何か 5 人の委員が並んでいたけど。

—— そこはたぶん規制委員会のホームページなのですけど。

—— これが新しい規制基準です、というのが、

—— 名前が長いんですよ。で、たくさんあるんですよ。

—— そう、たくさんあるんですよ。

—— 基準がいっぱいあるんです。

—— ああ、あれが皆そうなのか…。

—— そうです。20 個くらい並んでいて。

(模造紙をホワイトボードに貼った)

—— 運転中とか、何とか。

—— そう、あれが皆そうなのです。

(総合 F) そろそろ準備をお願いします。最初の発表は B 班です。

—— やはり (一番目の発表が) きましたね。

—— 今日は非常にすっきり感がありますね。

—— キレはいいですね。

—— 頑張って③をやってもよかったんじゃないですか？

—— でも、あれは拡散しすぎちゃう。そういう意味では、質問に真正面から答えていないから、すっきりしたんですよね。

(F) 30分くらいくれるなら。

—— 30分でも…。

—— (③)はある意味核心ですよ。

—— こういうのが答えられたら、(こういうフォーラムは) いらなんですよ。皆が探しているのですよ。

—— それは付け加えていただけますか。

(F) いいんじゃないですか。皆が探しているってことで。

—— 見果てぬ夢なのです。

—— なかなかいいまとめですね。

<終了>